

標尺	標高	深度	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記号	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試料採取			室内位置試験	削孔月日				
												N値	深度	100mmごとの打撃回数			50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料番号			採取方法			
														0	100	200										
(m)	(m)	(m)										0	10	20	30	40	50	値(m)								
1	11.55	0.60		盛土(砂質シルト)		褐			現世	含水少ない。細砂多量に含む。 φ20mm以下の亜角〜円礫点存在。	<div>02/27 4.33</div>	5	1.15	1	2	2	5									
	19.45	1.70		砂混じり粘土		黒褐		中位	含水少ない、下方に向かいやや増加。 粘性は低い。 木根貫入。所々黄褐色砂質シルトを薄層状に介在。			1.45														
2	10.15	2.00		粘土質砂シルト混じり砂		黄褐				含水やや少ない。細粒分を多量に含む。砂分は細砂主体。			2.15	4	5	6	15									
	9.75	2.40				褐		中位		含水少ない。下方に向かい粗粒化し、基底部は粗砂分主体となる。			2.45													
3									中後期更新世	上部含水少ない。GL-4m以深でやや増加し、GL-4.7m付近から非常に多くなる。不淘汰な層層を示す。礫は花崗岩・安山岩・珪質片岩等の亜角〜亜円礫主体。所々流紋岩質クサリ礫を含む。礫径はφ5〜60mm程度。基質はシルト質砂状、不均一な粒径の砂分を主体に、細粒分も含む。GL-4.8m付近、暗褐色の礫泥じり砂の薄層を挟む。			3.15	14	11	10	35									
4													3.45													
5						淡灰黄		中位非に密にな					4.15	24	19	7	50	250	250							
													4.40													
6													5.15	15	7	8	30									
													5.45													
	5.70	6.45											6.15	8	7	8	23									
													6.45													

土質柱状図

件名 土質調査委託業務

使用機械 鉦研製KS-4型

試錐番号 No. 1 号

調査地名 豊川市白鳥町野口町市田町御油町地内

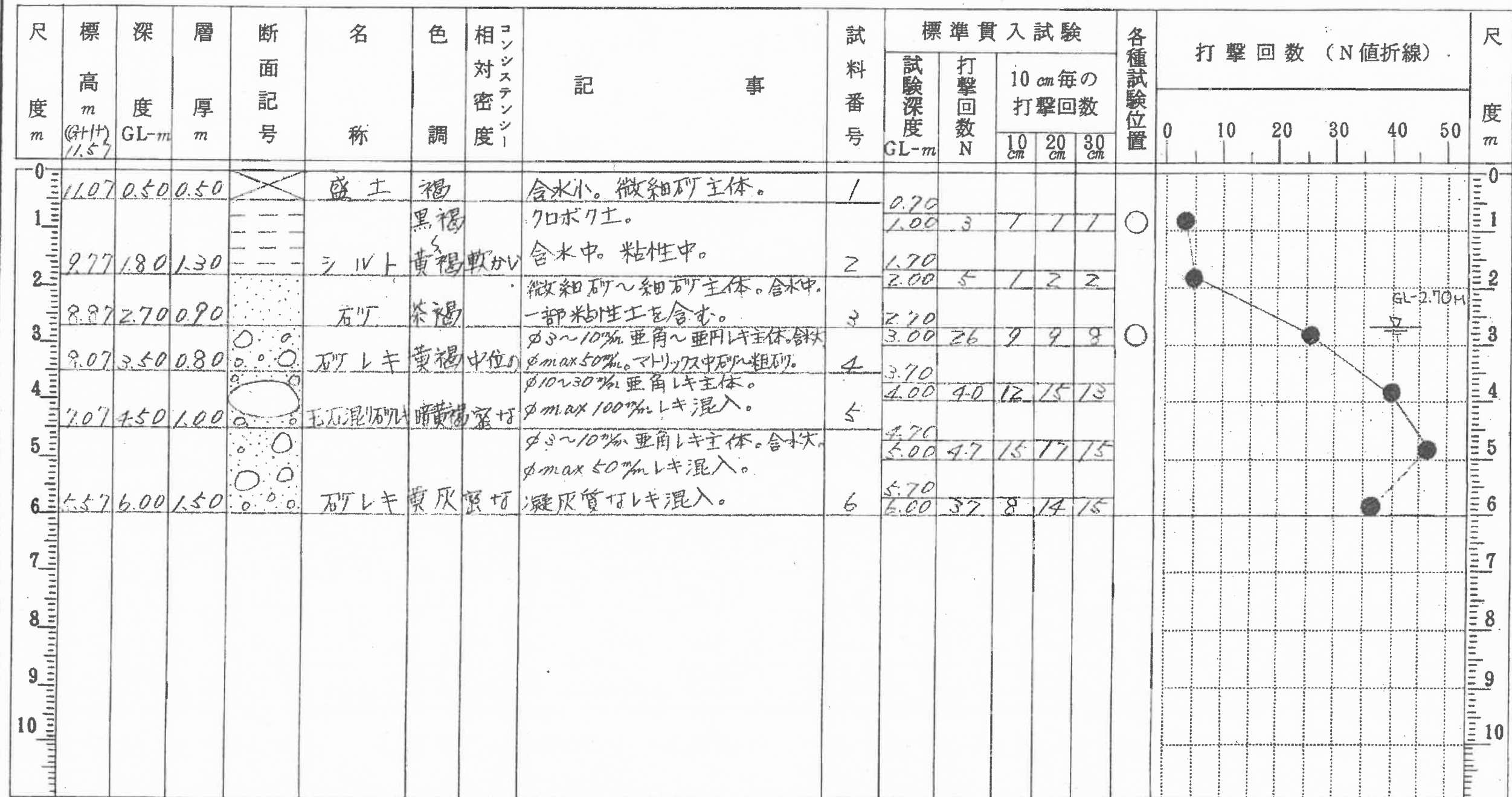
地盤高 GH + 11.57 M

作業担当者

調査年月日 昭和57年11月18日 ~ 11月18日

孔内水位 GL - 2.70 M

調査主任者



試験深度記号

I: 不攪乱試料

II: 現場透水試験

III: 水平方向載荷試験

○: 土質試験

株式会社キンキ地質センター

No. 1